

平成 19 年度第 10 回(通算第 43 回)「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	きみまち塾・能代将来研究会
開 催 日 時	平成 2 0 年 1 月 3 1 日 (木) 正 午 ~ 午 後 1 時
開 催 場 所	二ツ井町庁舎 庁議室
出 席 者	きみまち塾・能代将来研究会 12 人 (能代市：市長 二ツ井地域局長 地域局企画市民課長 地域局産業振興課長 観光振興課長 地域情報課長)
案 件	文化庁登録文化財「天神荘」の活用について 他
会議の概要 (主な発言)	<p>(...きみまち塾・能代将来研究会の皆さん ...市長 ...局長・課長等)</p> <p>天神荘の活用について</p> <p>新聞報道等では水害後文化財登録を解除・解体方向のようだが、状況等は？ 今、文化庁に書類を提出中。追加資料も求められ、最終的な了承はまだ。 現状で活用をと要望書を出したが、現況を見れば困難とは思ふ。解体後の検討をしっかりとというのが狙い。行政と民間が連携しての街づくりのきっかけにできればという思いがある。</p> <p>基本的な考え方は同じと思う。当方でも解体後の活用可能な部分の検討もしているが、気付かない部分等を指摘してほしい。当方の見立てでは、補修は困難で、使える部材も天井板程度というのが実態。</p> <p>ただ「天神荘」という名前の重みをどう評価するのか、それは課題。</p> <p>今、商工会等で旧いとくスーパー跡地への温泉付きのコミュニティ施設建設に関して協議中だが、以前より図書館の必要性が言われている。むしろ、統合小学校の放課後・休日利用等児童館の要素も盛り込んだ世代間交流ができる図書館ベースの施設が必要と思う。</p> <p>その図書館と、コミュニティ施設との関連はどのように考えているのか？</p> <p>「温泉」と「図書館」とは別々に考えるべきである。温泉付宿泊施設等は観光と絡め、きみまち阪付近が適当で、街中には図書館等がふさわしい。</p> <p>意見は様々ある。しかし、現にコミュニティ施設建設の話は進行中である。事前に商工会と意見のすり合わせが必要では？</p> <p>また、今のコミュニティ施設の計画には、天神荘の再利用という観点はない。現状の天神荘で再利用可能な部材があるか？</p> <p>部材価値はあるかもしれないが、重要なのは“木のまち”の歴史を映す文化財「天神荘」の名を残すこと。街づくりのきっかけとして天神荘の活用を。</p> <p>問題は 2 点。「天神荘」保存活用問題とコミュニティ施設建設問題。コミュニティ施設と天神荘活用と絡めた整理・すり合わせがないと要望には返答できない。</p> <p>商工会の現プランは、将来的ビジョンがないことが問題。地域の将来は「観光立地」が最適。それには「見所」「食」「体験」「街並み」が必要で、「街並み」を見た場合、“とりあえず温泉付施設を”との姿勢が疑問。</p> <p>コミュニティ施設建設に関しては、商工会のみが対話の窓口なのか、他団体</p>

等が意見を伝えることはできるか？

様々な経緯があり検討してきた。商工会のみが窓口とは考えていないし、意見も承るが、皆さんのほうですり合わせして良い案を作れないものかと思う。市長が言うとおり、コミュニティ施設については、やはり当方で商工会と調整を取るべきであると思う。我々は街づくりプロジェクトを立ち上げ、地区の将来を考えている。「観光立地」や街づくりのためにも歴史の証人「天神荘」を活用し名を残したい。

「天神荘」に関しては、老朽状況や景観上から地元からも早期撤去を望まれ、検討の結果、文化財指定解除手続きに至った。資源価値の面からも専門家からは部材再利用は難しいとの意見。保存の具体的な提案がほしい。名を残したい気持ちは同じ。しかし『費用対効果』という観点も必要。

地域には「二ツ井プロジェクト提言」や「過疎計画」があった。その中に「中心部コミュニティ施設」計画もあったが、とん挫したと思っていた。そこで天神荘を絡めた話になった。プロジェクトを拡大し市民参加を得て、プランを検討する必要がある。そんな組織が必要。

今後広く街づくりプロジェクトを作ってほしいが、現在のコミュニティ施設研究委員会の枠を拡大する考えはないか？

これまでの経緯もあり、すぐ拡大することは難しい。

皆さんで商工会に「自分たちはこう考えるが」と提案してみたいはいかがか？

当方で商工会に働きかけ、提案や委員会の枠の拡大等話してみたい。

その他

きみまち阪地域は川の増水のたびに浸水被害がある。堤防補修等は、観光景観にあった補修を考えてほしい。コンクリートで固めるような形は避けてほしい。

今回床上被害を受けた地区は、基本的には環住堤の検討をしている。恋の沢(きみまち阪)地区は永久堤の延伸は景観面・費用面からも困難。国交省では、河道掘削で川の容積を確保し、排出土砂で低地の嵩上げをしたり、ヘルスセンター付近では川沿いの築堤を、直線ではなく、L字型に国道まで延ばす検討をしているとのこと。

景観にも配慮し、国へ要望する。ただ、行政として場合によっては費用対効果を考慮しなければいけないので、ご理解を。

リサイクルポートの指定は、港周辺のみではなく人とモノが動き、大館・小坂と能代間の県北地区一帯が発展するチャンス。取引増で活気も出、雇用機会も増え収入確保など副次的に元気が出、人口増に繋げたい。